

2021年11月24日

各 位

会 社 名 株式会社ソフィアホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 飯塚 秀毅
 (コード番号 6942 ジャスダック)
 取締役 財務担当
 問い合わせ先 兼 管理部ゼネラルマネージャー 大内貴裕
 (TEL : 045-548-6205)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所（以下、東京証券取引所といいます。）の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式数時価総額については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関して2025年3月期までに上場維持基準を充たすための各種取組を進めてまいります。

項目	スタンダード市場の上場維持基準	当社の状況 (移行基準日時点)	適合状況
株主数	400人以上	908人	○
流通株式数	2,000単位以上	7,307単位	○
流通株式時価総額	10億円以上	9.88億円	×
流通株式比率	25%以上	26.6%	○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取り組み内容

スタンダード市場上場維持基準の充足に向けた流通時価総額の上昇にかかる当社の具体的な取組については、添付の『スタンダード市場上場維持基準の適合に向けた計画書』に記載のとおりです。

以上

株式会社ソフィアホールディングス
スタンダード市場
上場維持基準の適合に向けた計画書

2021年11月24日
(東証JASDAQ：6942)

目次

1. 上場維持基準適合に向けた基本方針P.3
① 適合状況と計画期間	
② 課題、基本方針及び取組内容	
2. 課題1:株式価値向上についてP.6
① 事業成長による企業価値向上	
② IR活動の強化による株価上昇	
3. 課題2:流通株式比率について P.15
4. 会社概要 P.18

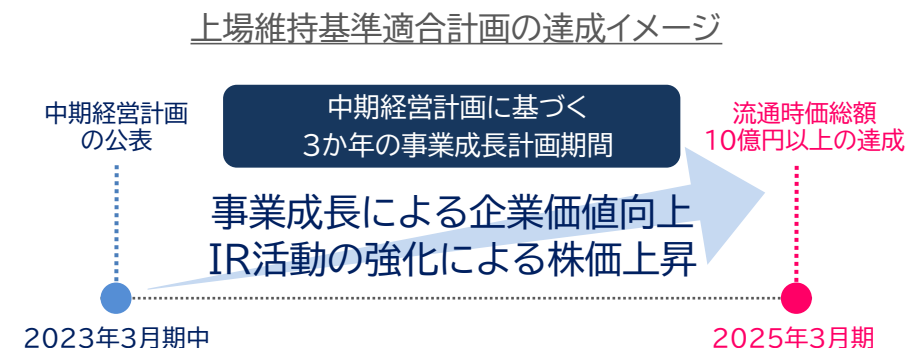
1. 上場維持基準適合に向けた基本方針

適合状況と計画期間

- 移行基準日(2021年6月30日)時点の適合状況について
 - 「流通株式総額」が9.88億円と適合していない
 - 「流通株式時価総額」の構成要素である「時価総額」及び「流通株式比率」について課題及び取組を検討し、計画を策定

項目	スタンダード市場の上場維持基準	当社の状況 (移行基準日時点)	適合状況
株主数	400人以上	908人	○
流通株式数	2,000単位以上	7,307単位	○
流通株式時価総額	10億円以上	9.88億円	×
流通株式比率	25%以上	26.6%	○

- 計画期間
 - 「中期経営計画」に基づく「事業成長による企業価値向上」と「IR活動の強化による株価上昇」に取り組むことで2025年3月期までに流通株式時価総額の適合を図る
 - 「中期経営計画」は2023年3月期中の公表を予定



課題、基本方針及び取組内容

課題1 株式価値

事業成長およびIR活動の両面から施策を実施し株式価値の向上を図る

①事業成長による企業価値向上

- グループ成長戦略の実現
- グループ重点施策及び各事業セグメント施策の実行
- サステナブル経営(SDGs、ESG)の推進

②IR活動の強化による株価上昇

- 株主・投資家様との対話の促進
- 自社サイトの有効活用による情報発信の機会拡大
- 長期ビジョンの策定及び中期経営計画の公表

課題2 流通株式 比率

流通株式比率は現在の比率を維持

親会社との連携による事業成長

- 当社親会社で調剤薬局事業等を展開するE-BONDホールディングス(非上場)と連携することで調剤薬局事業において、より強固な事業地盤を構築中
- グループ成長戦略への取組強化に必要であり、現時点においてE-BONDグループの保有比率(71.3%※)は適正であると考え、維持の方針とする
- 当社は、あくまでも企業価値・株式価値向上を前提に、E-BONDグループのシナジー及び進捗を注視し、保有比率についても定期的な検証を行っていく

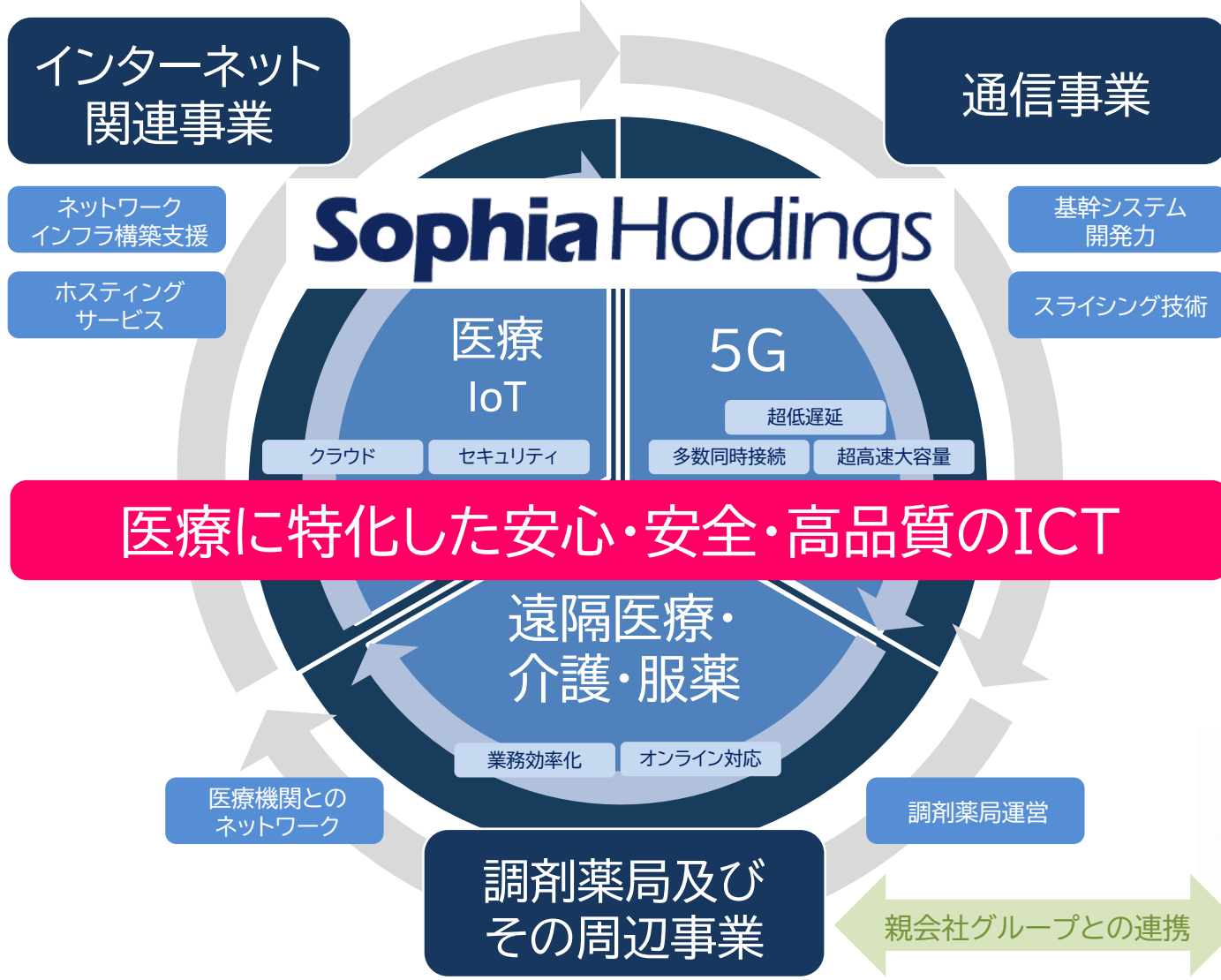
※発行済株式(自己株式を含む)の総数に対する所有株式数の割合(移行基準日時点)

流通株式
時価総額
の向上

2. 課題1:株式価値向上について

①事業成長による企業価値向上

グループ成長戦略の実現



グループ成長戦略の実現に向けた

医療特化型 ソフィア5Gソリューション

の提供を目指しオンリーワンの価値と
グループシナジーの創出に取り組む

E-BONDグループ
E-BOND GROUP

所有株式数割合:71.3%
※発行済株式(自己株式を含む)の総数に対する所有株式数の割合(移行基準日時点)

グループ重点施策

- **グループシナジーの追求**
 - グループ各社が持つ技術ノウハウを活用した新たなサービスの共同開発の推進
 - その他、グループ全体としてのシナジー効果の追求を行うことで、競争力の強化を図る
- **事業ポートフォリオの最適化**
 - 事業の収益性及び将来性を見極め、強化すべきと判断した事業に対する経営資源の集中
- **資金調達の多様化および財務体質の改善**
 - より多様な資金調達手法(金融機関及び投資家からの借入、あるいはエクイティファイナンスなどによる調達手段)を通じて、資金調達に取り組むとともに、自己資本の充実を図る
- **M&Aを活用した事業の拡大**
 - 投資効果、対象企業の提供サービスにおける事業規模や成長性、当社グループとのシナジー効果を十分に検討したうえで、業績の向上につながるM&Aを進める
- **新規事業への取組**
 - 中長期的な成長を視野に、今後ますます需要が拡大すると見込まれる分野に、新しい技術の活用を含む経営資源を積極的に投入することで、新たな事業を軌道に乗せつつ、更なる収益の拡大を図る
- **中長期的な固定費の削減**
 - 本社オフィス移転 (済)
 - テレワーク体制の強化 (済)

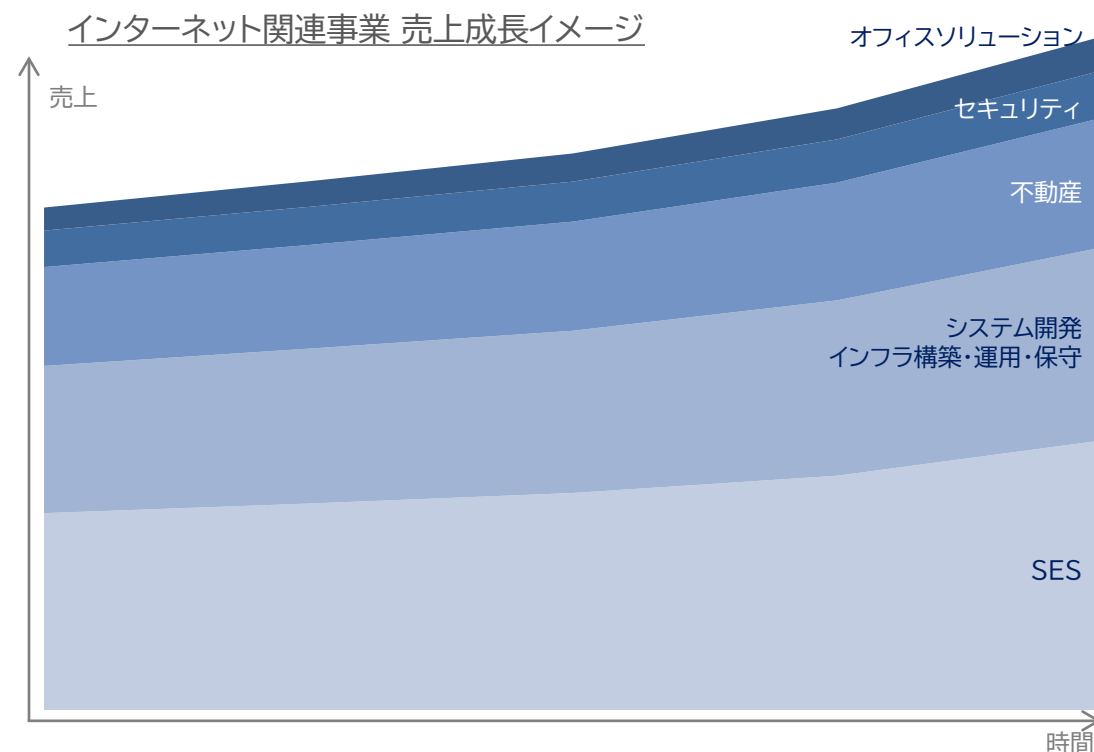
インターネット関連事業

- 事業概要

- インターネット関連のシステム開発、インフラ構築・運用・保守、システムエンジニアリングサービス(SES)
- SSL証明書などセキュリティ製品の販売
- 不動産仲介業者向けASPサービス「RIMS」の提供など
- 事務用品販売、クリニック開設支援などを行うオフィスソリューション

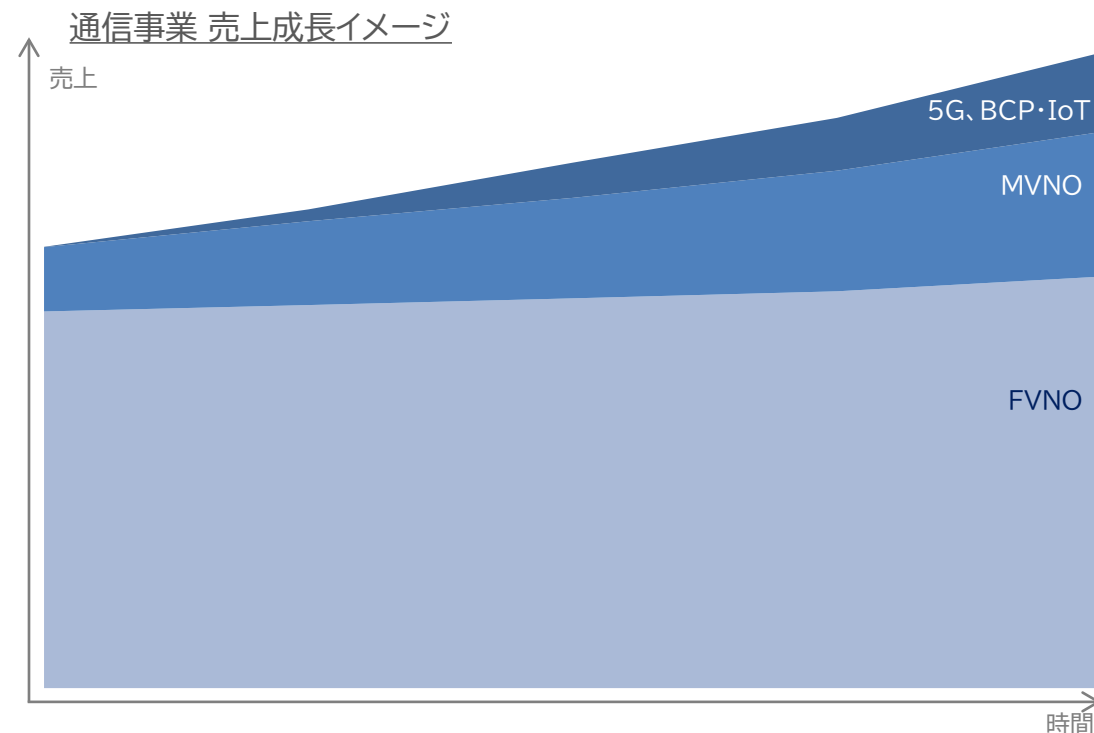
- 施策

- **SES事業拡大**
 - 技術者採用・育成による収益拡大
- **セキュリティ領域の事業拡大**
 - 新サービス開始(2021年7月 BrandKeeper)
 - より専門性の高い技術、サービスの提供
- **不動産業界のDX化推進**
 - 「RIMS」を顧客管理、MA機能などを取り込んだ業務支援システムへ進化させDX化を推進
 - 「不動産テック」商品の開発、提供
- **オフィスソリューション事業(2021年4月事業譲受)拡大**
 - 既存システム開発とのシナジー創出
 - オフィス家具EC事業の新規立ち上げ



通信事業

- 事業概要
 - MVNO、FVNOを中心とした情報通信サービス全般とISPの企画、開発、運営
 - AI自動音声翻訳機とSIMを組み合わせたオンライン型翻訳サービス
- 施策
 - **MVNO、FVNO**
 - 既存顧客満足度向上と設備投資による着実な成長を図る
 - MVNOの事業化支援サービス及びMVNO事業者向け受注システム「Sim Orders」などのツール導入支援サービスの拡大
 - **5G事業の拡大**
 - キャリア5G、ローカル5Gネットワーク技術を用いた新サービスの開発
 - **BCP、IoT関連事業の拡大**
 - BCP並びにパンデミック対策システムの販売
 - IoT機器及びサービスの運営、販売



MVNO: Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

FVNO: Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

ISP: Internet Service Providerの略。公衆通信回線などを經由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

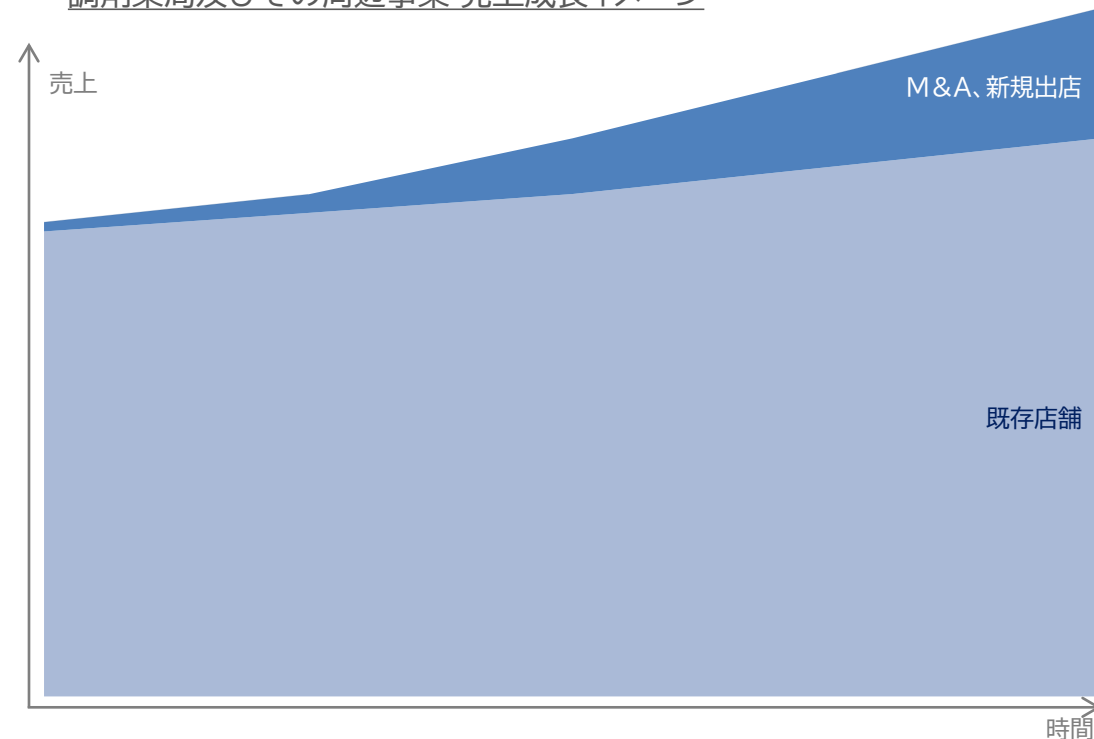
SIM: Subscriber Identity Moduleの略。携帯電話やタブレット型端末などに差し込んで使用する、契約者情報を記録したICカード。

各事業セグメントにおける施策 調剤薬局及びその周辺事業

- 事業概要
 - 調剤薬局の運営
- 施策
 - 事業運営体制の安定化
 - M&Aによる急速な拡大からの安定化
 - 既存店舗の更なる効率化
 - 後発品医薬品使用率の向上
 - 適正な人員配置、事務員によるOTC販売強化
 - 施設調剤の獲得や加算算定の拡充
 - M&A、新規出店
 - 適正価格でのM&Aの実施
 - 好立地(敷地内や医療モール等)の新規出店
 - 組織の強化
 - 優秀な人材(経営幹部、薬剤師)の登用育成
 - 安定的な薬剤師の確保
 - 調剤薬局運営のノウハウと、当社グループが持つICT(情報通信技術)を結合し『患者のための薬局ビジョン』を具現化

厚生労働省
「患者のための薬局ビジョン」～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ
<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html>

調剤薬局及びその周辺事業 売上成長イメージ



サステナブル経営(SDGs、ESG)の推進

「絶えずお客様のニーズを先取りし先進的なICTサービスを通して、社会貢献します」の企業理念のもと、すべてのステークホルダーに配慮し事業活動を推進することによって、自らの成長とともに、持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値の向上を目指す

(現在の取組概要 ※詳細を別途開示予定)

Environment

環境



Social

社会



Governance

ガバナンス



事業を通じた環境負荷への貢献	省エネ機器導入、リサイクル推進、薬局店舗でのバイオマス25%レジ袋の導入などにより環境負荷の低減に貢献
資源の削減	オフィスでのエコ活動(ゴミ箱撤廃、ゴミ分別の徹底、保管資料電子化によるペーパーレス化、リサイクルトナーの活用等)
オフィス効率化	オフィス移転、テレワークの推奨により物理的な移動によって発生するCO2などのエネルギー削減、物理的なモノの利用機会減少による省資源化への取組
社会との関わり	安心・安全なデータセンターの運営、地域のデジタル化推進に繋がるサービスの提供 かかりつけ薬局として専門性と質の高い医療提供による治療のサポートと健康支援の取組
人材採用と育成	薬剤師の実習受入、認定薬剤師取得費用補助制度をはじめとした人材育成の強化、適切な人事評価制度の導入、待遇向上の実施や新たな技術習得の機会創出への取組
ダイバーシティの推進	女性積極登用、出産・育児休暇等に関する支援制度(在宅、時短勤務など)の導入 (実績例)従業員女性比率約70%/女性管理職の登用率43% ※2021年3月末実績
コーポレートガバナンス	実効性の高いガバナンスを確保したプロセスの整備・運用の実施
公正な取引	従業員へのコンプライアンス、倫理教育への取組 情報セキュリティ及び個人情報保護、事業活動における法令遵守や環境整備などの各種取組
コンプライアンスの徹底	会社全体の業務の適正性を確保するための内部統制システムの整備・運用の徹底 「倫理綱領」に基づく、反社会的勢力への利益供与・賄賂等の禁止の徹底

2. 課題1:株式価値向上について

②IR活動の強化による株価上昇

IR活動の強化による株価上昇

株主・投資家様に向け、企業価値をより適正かつ透明性高く情報発信することにより、信頼と期待を高め、株価の上昇を図る

- 株主・投資家様との対話の促進
 - 経営計画や決算等についてわかりやすい開示を推進
 - 機関投資家様との積極的な面談機会を図る
 - アナリスト・機関投資家様向け決算説明会及び個人投資家様向け会社説明会の開催を検討
- 自社サイトの有効活用による情報発信の機会拡大
 - アナリストレポートの公開を実施(本年10月掲載済)
 - サステナブル経営(SDG's、ESG)の取組について随時情報を発信
 - その他、FAQやIRカレンダーなど、IRサイトコンテンツの拡充を検討
- 長期ビジョンの策定及び中期経営計画の公表
 - 「中期経営計画」は2023年3月期中の公表を予定

3. 課題2: 流通株式比率について

流通株式比率 – 現状と経緯

- 現状

- 移行基準日における当社の流通株式比率: **26.6%**※
- 親会社で調剤薬局事業等を展開するE-BONDホールディングス(非上場)が **71.3%**(間接保有含)※を保有

- 経緯

- 2017年11月 アイソプラ(現アレクシア)がTOBによりソフィアホールディングス株式66.38%取得し、子会社化。(2018年10月の新株式発行割当後は、54.03%)
- 2018年10月 アイソプラ(現アレクシア)の親会社であるE-BONDホールディングスを割当先とし、第三者割当による新株式発行(500,000株)
- 第三者割当による新株発行の目的
『企業価値の向上を図ること、また、当社グループの調剤薬局事業の事業拡大及び財務基盤の強化を目的とする』
- これにより間接保有を含めてE-BONDホールディングスが、71.3%保有

※比率は発行済株式(自己株式を含む)の総数に対する割合(移行基準日時点)

流通株式比率 – 当社の考え方と方針

- 「流通株式比率」に対する当社の考え方
 - 2018年より調剤薬局事業に参入を行い、当事業を戦略事業の一つと位置付け
 - 2018年2月に、E-BONDホールディングスとの間で、業務提携契約を締結
[両者の調剤薬局事業の発展及び拡大と調剤薬局向けシステムの開発販売に寄与することを目的](#)とし、E-BONDホールディングスに第三者割当増資を実施。(前頁経緯参照)
 - これまでの提携関係の中で培ってきた関係と連携を活かし、調剤薬局事業をより強固な事業基盤とすべく構築中であり、その進捗は道半ば
 - E-BONDグループが持つ医療機関とのネットワークがグループ成長戦略において重要な役割を果たす
 - これらから、E-BONDホールディングス、ならびにE-BONDグループとの関係性を維持する事は、今後の経営戦略上、必要であり、また、グループ成長戦略への取組への強化に必要であることから、[現時点においては流通株式比率は適正であると考え、維持の方針とする](#)が、今後「事業基盤の強化」および「グループ成長戦略」の進捗を注視しながら流通比率の変更を検討
- 方針
 - 流通株式比率は現在の比率を維持
 - 今後、「事業基盤の強化」および「グループ成長戦略」の進捗を注視しながら流通比率の変更を検討

4. 会社概要

会社概要(2021年3月末時点)

社名	株式会社ソフィアホールディングス(SOPHIA HOLDINGS CO.,LTD.)		
所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-12 共立新横浜ビル5階		
代表者	代表取締役社長 飯塚 秀毅		
資本金	2,358百万円		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> インターネット関連事業 通信事業 調剤薬局及びその周辺事業 その他 	役員一覧	代表取締役社長 飯塚 秀毅 取締役 大内 貴裕 取締役 加島 弘之 取締役 引地 有希 社外取締役(※) 赤羽根 秀宜 社外取締役(※) 石井 絵梨子 監査役 樋笠 也寸志 社外監査役(※) 近藤 希望 社外監査役(※) 市村 大介
主な連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ソフィアデジタル株式会社 ソフィア総合研究所株式会社 株式会社アクア 株式会社サイバービジョンホスティング ルナ調剤株式会社 		2021年9月末時点
設立	1975年8月11日	従業員数	単体:10名 / 連結:228名
決算期	3月末	事業内容	株式等の保有を通じた 企業グループの統括・運営等

※東京証券取引所に「独立役員届出書」を提出しております。

会社概要(2021年3月末時点)

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ
証券コード	6942
発行済株式数	2,737,720株
株主総数	909名
株主分布状況	<p>金融機関 0.24%</p> <p>金融商品取引業者 4.79%</p> <p>個人その他 22.83%</p> <p>外国法人等 0.61%</p> <p>その他の法人 71.52%</p> <p>(注) 1. 自己株式48,950株は「個人その他」に489単元含めて記載しております。 50株は単元未満株式の為、除いて記載しております。 2. 「その他の法人」の中には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3単元含まれております。</p>

グループ沿革(2021年9月末時点)

年月	概要
1975年8月	(株)ソフィアシステムズを設立。
1988年12月	株式を日本証券業協会に店頭売買銘柄として登録
2004年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式上場 ソフィア総合研究所(株)を設立
2006年9月	アーツテクノロジー(株)を子会社化(2007年10月にソフィア総合研究所が 吸収合併)
2007年4月	会社分割による純粋持株会社体制への移行により商号を(株)ソフィアホールディ ングスに変更
2009年4月	デザインオートメーション事業部門を継承した(株)ソフィアシステムズの全株式 譲渡
2009年7月	中華人民共和国香港特別行政区にSophia Asia-Pacific Limitedを設立
2010年2月	ソフィアデジタル(株)を設立
2010年4月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い大阪証券取引所JASDA Q(現 東京証券取引所JASDAQ)に上場
2011年10月	当社株式の所属業種を「電気機器」から「情報・通信業」に変更
2012年9月	(株)サルースを子会社化(2014年12月に完全子会社化、2015年6月に 全株式譲渡)
2012年11月	ソフィア総合研究所がソフィア デジタルを子会社化 ソフィア総合研究所が(株)オルタエンターテイメントを子会社化 (オルタエンターテイメントは2020年4月にソフィアデジタルが吸収合併)
2014年6月	ソフィア総合研究所(株)が(株)アクアを子会社化
2014年8月	(株)ジーンクエストを子会社化(2017年10月に株式交換により連結除外)
2014年12月	(株)ナノメディカルを子会社化(2016年3月に完全子会社化、 2018年4月にルナ調剤(株)に商号変更)

年月	概要
2015年4月	ナノメディカルがエリアビージャパン(株)を子会社化(2019年10月に全株式を譲渡) ナノメディカルが(株)メディカルコンピューターサービスを子会社化(2018年4月に (株)ソフィアメディカルに商号変更、2018年9月に全株式を譲渡)
2015年8月	ソフィア総合研究所が(株)サイバービジョンホスティングを子会社化
2017年11月	(株)アイソプラ(2020年6月に(株)アレクシアに社名変更)と資本業務提携
2018年2月	(株)E-BONDホールディングスと業務提携
2018年5月	ルナ調剤が(有)ビーライクを子会社化 以降2020年2月までに調剤薬局運営会社合計15社を順次M&Aで子会社化 (うち4社を吸収合併)、1社を設立
2020年8月	ソフィア総合研究所が株式取得により(株)藤井を子会社化(現(株)ソフィアテック)
2020年10月	(株)RetailXを子会社化 (株)エムオーを設立
2021年4月	ソフィア総合研究所が(株)ニシムラ事務機から事務用品販売事業・クリニック開設支援 事業を譲受

免責事項

本資料に含まれる将来の見通しにつきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料は投資勧誘のために作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

株式会社ソフィアホールディングス
経営企画室 IR担当

お問い合わせフォーム <https://www.sophia.com/contact/>

ソフィアグループは、たえずお客様のニーズを先取りし、
先進的なITサービスによる新しい価値の創造を通して、
社会貢献することを目指します。

Sophia Holdings